

千代田区 青少年委員だより

Message

2023 春
Vol.55



子どもたちの目が輝く街にするために
青少年委員は働きます



令和4年度の活動を振り返って

会長 佐藤 淳司

令和4年度の「ひがた探検隊」や「ポニー乗馬会」は、昨年度まで検討してきた感染症対策を踏まえ、参加者の人数制限等を行うことにより、新しいスタイルで実施を試みました。本年度の経験を活かし、青少年委員会は、少しでも多くの子もたちが多様な体験をできるよう、次年度も活動していきます。

総務委員長 松井 千恵子

新たに5名の青少年委員を迎えるとともに、委員会活動で使用するジャケット・ポロシャツ・ウインドブレーカーを用意しました。そして、区における青少年健全育成を図るため、3年ぶりとなる中央ブロック新年会を開催し、近隣区の青少年委員会との親睦を深めました。

研修委員長 村田 直子

青少年健全育成を目的に年2回研修を行っています。今年度は「子どもとの良好なコミュニケーションの取り方・接し方」「点字を通して視覚障がい学ぶ」をテーマに管内研修を行いました。今後も青少年の健全育成に資する研修を企画、実施してまいります。

自然体験委員長 塩谷 公邦

コロナ禍で活動が制限される日々が長く続きましたが、本年度は何とか「ひがた探検隊」を2回と「ポニー乗馬会」を実施することができました。子どもたちのキラキラ輝く瞳を見ることができて嬉しく思いました。来年度も感染症対策を十分施しながら活動の継続を図っていきます。

広報委員長 長嶋 幸

ぱっ！と見て楽しめる広報誌を目指しています。こんな事するんだ！やってみたい！と思ってもらえるよう工夫を図りました。二十歳のつどいは皆様の良い思い出となるよう心を込めてお届けします。

千代田区青少年委員会では子どもたちの目を少しでも輝かせることができる事業を計画していきます。



ホームページもご覧ください
<https://www.seishonen.jp>

千代田区 青少年委員だより Vol.55
発行日 令和5年3月
編集 青少年委員会 広報委員会
発行 子ども部 子ども総務課
電話 03-5211-4274

千代田区青少年委員会

検索

祝二十歳 20
Congratulations on Turning
Twenty Years Old

令和5年 千代田区「二十歳のつどい」

主催 千代田区「二十歳のつどい」企画運営委員会

令和5年1月9日 於：ホテルニューオータニ 鶴の間（西）

会場には二十歳を迎えた 360 名が集まりました。

【式典プログラム】

- 開会式
- 主催者挨拶
- 来賓挨拶
- 講演
- 二十歳の宣言
- メッセージカード紹介
- アトラクション
- 閉会式



〈主催者挨拶〉
樋口区長



〈来賓挨拶〉
桜井区議会議員



〈講演〉
声優 / アーティスト
緒方恵美さん



〈司会〉
上村まる菜さん
平田幹太さん



〈二十歳の宣言〉
八尾拓哉さん



〈メッセージカード紹介〉
劉佳恵さん



〈アトラクション MC〉
泉享佑さん
澤正樹さん



〈閉会挨拶〉
鬼頭祥太さん



二十歳のつどい企画運営委員のみなさん



入場の際、手指消毒・検温



今年のテーマは「繋（つなぐ）」
今まで出会った人々、そしてこれから先出会う人々との繋がりを大切にしていきたいという思い、また、新しい社会の担い手として、伝統や文化を繋いでいこうという思いも込められています。
「社会は十人十色の人々であふれていてお互いが繋がりがあって生きている」という事を強調したデザインです。
この二十歳のつどいが皆さんの素敵な繋がりを再確認するきっかけになれば幸いです。



〈アトラクション〉チーム対抗クイズバトル ☆ 二十歳の主張



当日の様子は会場よりライブ配信されました。

千代田区青少年委員会は二十歳のつどい企画運営委員のサポート及びアドバイザーとして、会議の出席、当日運営のお手伝いをしました。

ポニー乗馬会

令和4年10月30日(日)
お茶の水小学校

協力:公益財団法人
ハーモニセンター



秋晴れの中、3年ぶりの開催となりました。ポニーやモルモットなどの動物とのふれあいによって、たくさん子どもたちの笑顔を見ることができました。

多くの皆さんにご応募いただきありがとうございました。

ポニー乗馬会
担当 山崎充彦



ひがた探検隊 海苔すき・海苔摘み体験

令和5年2月5日(日)
千葉県木更津市
金田たて潮干狩場

協力:木更津市観光協会



絶好の海苔すき日和に恵まれ、3年ぶりに開催されました。自分たちですいた海苔を乾かす間に、ゲームをし、生海苔の三杯酢・お味噌汁・鉄砲巻きのお昼ごはんをいただきました。おなかいっぱいになったあとは、網にびっしりついた海苔を摘みとり、袋いっぱい集めました。子どもたちは、初めての経験に大興奮の1日でした。



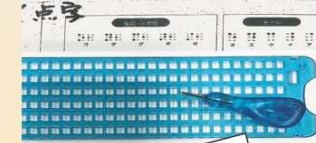
管内研修

令和4年11月19日(土)

テーマ:「点字を通して視覚障がい学ぶ」

講師:「点訳きつつき」会長・齊藤宮子氏、小副川由紀子氏

目が見えないとはどういうことか、私たち健常者がどう寄り添いお手伝い出来るかを視覚障がい者の立場に立って学びました。スマホアプリの「読み上げ機能」などITの活用も進んできていますが、日常生活で我々がお手伝いできることが多くあることに気がきました。出席委員は慣れない点字作成体験にチャレンジ。悪戦苦闘しながらも一生懸命取り組みました。



点字を読んでみよう!

右の絵のような点字...いろいろなか所で見かけますね。

エレベーター、電気洗濯機、郵便ポスト、製粉すりや切符を買うところ...それに、缶ビール、木工用接着剤、ビン詰めジャム、ソース、とうもろこしの容器など、まだまだありますよ。さがしてみよう!

そこは、何と書いてあるのでしょうか? 点字を見つけたら読んでみましょう!

●点字の誕生

現在、世界中で使われている点字は、フランスのルイ・ブライユ(1809年1月4日~1852年1月6日)が、16歳のとき(1825年)に考案しました。



中央ブロック (千代田区・中央区・港区・文京区合同事業)

定例会 令和4年6月24日(金)(港区)

コロナ禍により中止となっていた定例会ですが、久しぶりの対面開催となりました。リアルで会うことの意義を改めて感じた日でした。

研修大会 令和4年9月10日(土)(中央区)

「メタバースとは~新しいコミュニケーションを考える~」をテーマとして、今後、新しいコミュニケーションや経済活動の場となっていくであろうメタバースについて学びました。



メタバース事例「Horizon Worlds」

- 2021年12月、米国・カナダで公開
- ゲームをはじめとして様々なジャンルが取り扱われている
 - エンターテインメントから、ビジネスまで幅広いワールドを提供
- 大手SNS「Facebook」の運営会社が社名をMetaに変更したことで、メタバースへの注目が大きくなる

